

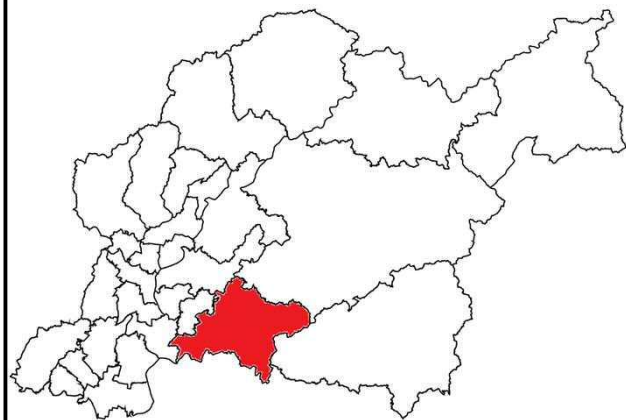
松平地域

自治力見える化カルテ (1/2)

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

松平地域は豊田市の中心地から南東に位置する、自然と歴史に恵まれた地域である。地域の中央には巴川、南には郡界川が流れ、東には六所山と焙烙山を仰ぐ。また、徳川家康の始祖である松平氏の発祥の地であり、多くの史跡や文化財が残されている。

国道301号が地域の東西を、主要地方道岡崎足助線が地域の南北を走る。また、東海環状自動車道豊田松平インターチェンジが設置されている。

地域の西側は大規模な住宅団地があり市街地が開けている一方で、地域の東側は中山間地で集落が点在しており、少子高齢化や過疎化の進展が課題となっている。

面積	43.59 km ²	(4.7%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	227 人/km ²	(49.0%)	[市 462 人/km ²]
人口	9,874 人	(2.3%)	[市 424,500 人]
男性	4,995 人	(2.3%)	[市 221,768 人]
女性	4,879 人	(2.4%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	63 人	(0.4%)	[市 16,327 人]
世帯数	3,374 世帯	(1.9%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	44.9 歳	(2.2歳)	[市 42.73 歳]

【人口】

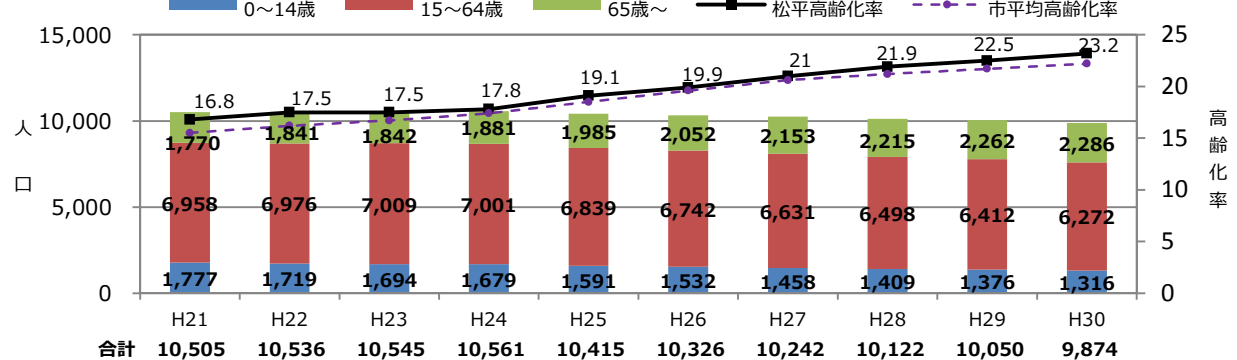
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	10,415	9,874	△ 541	△ 5.2
0~14歳	1,591	1,316	△ 275	△ 17.3
15~64歳	6,839	6,272	△ 567	△ 8.3
65歳~	1,985	2,286	301	15.2
75歳~(再掲)	1,011	1,104	93	9.2
高齢化率	19.06	23.15	4.09	21.47

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 89	△ 84	△ 120	△ 72	△ 176
自然増減	△ 37	△ 13	△ 16	△ 17	△ 32
社会増減	△ 52	△ 71	△ 104	△ 55	△ 144

【人口推移】



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

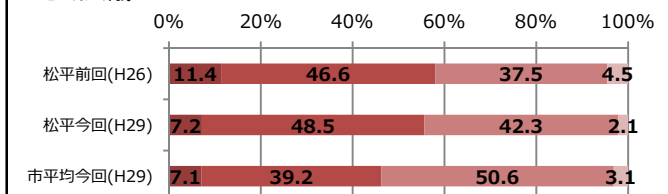
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

課題・問題点の項目	松平	豊田市	差
交通安全対策の推進	55.7	53.9	1.8
生活道路・交通をスムーズにすること	46.4	45.4	1.0
買い物の不便の解消	44.3	43.8	0.5
公共交通機関の充実	42.3	44.3	△ 2.0
豊かな自然環境の保全	39.1	40.3	△ 1.2
防災対策の充実	37.1	36.8	0.3
防犯対策の強化	36.1	40.5	△ 4.4
医療の充実	35.1	47.2	△ 12.1
住民同士の交流の場や機会の拡充	33.0	34.2	△ 1.2
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	33.0	32.0	1.0
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	33.0	38.0	△ 5.0
子育ての支援の充実	30.9	38.1	△ 7.2
若年層の定住促進策の拡充	29.9	33.6	△ 3.7
広場・公園などの施設の整備	29.9	39.5	△ 9.6
空き家や耕作放棄地の対策の強化	27.8	32.8	△ 5.0
鳥獣害対策の強化	27.8	28.9	△ 1.1
市街地の活性化と魅力づくりの推進	27.8	31.3	△ 3.5
福祉対策の充実	27.8	31.8	△ 4.0
近所での働き口の創出	25.8	25.8	0.0
観光によるまちづくりの推進	22.7	18.9	3.8
農業・農地を保全すること	20.6	26.2	△ 5.6

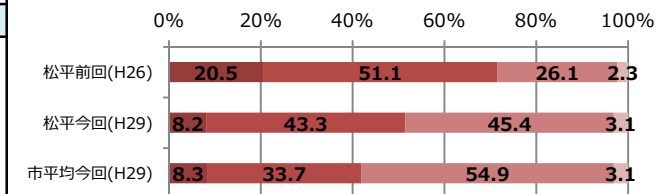
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

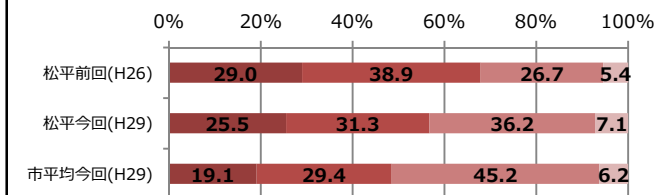
◎ 地域会議



◎ 地域のわくわく事業



◎ 地域の地域予算提案事業



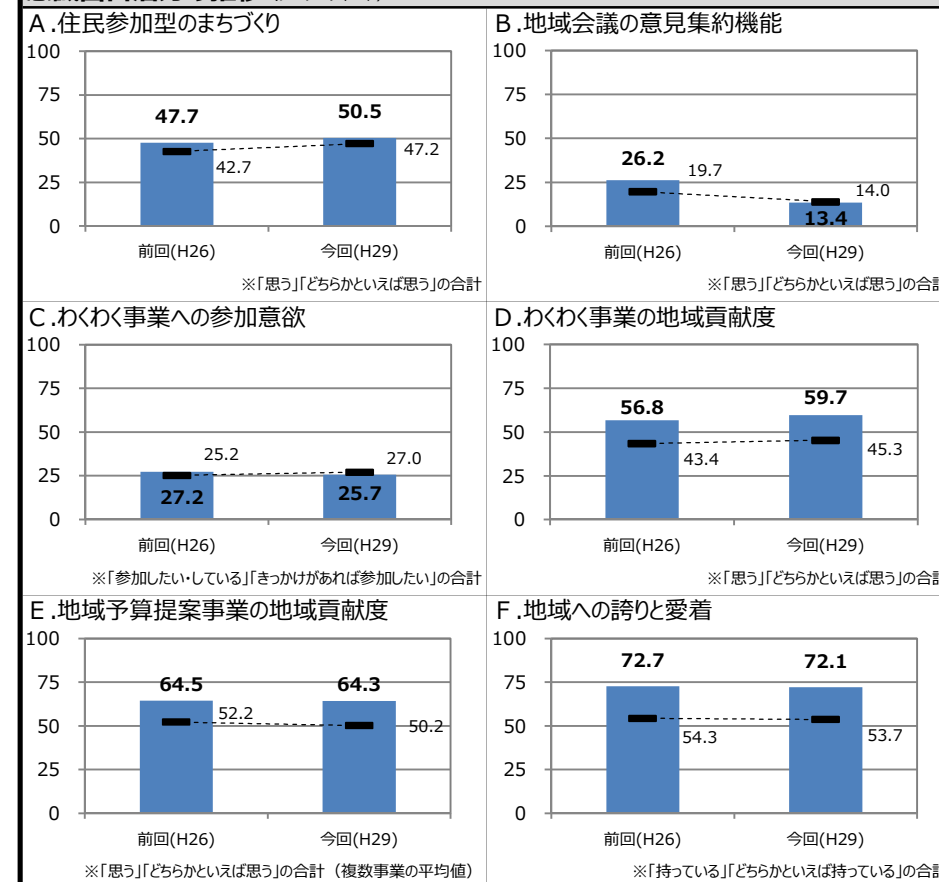
【コメント (地域概要)】

過去10年において、人口はほぼ横ばいの状態にあるにもかかわらず、高齢化率は平成24年度から上昇しており、市平均高齢化率と同様の傾向を示している。松平地域内でも山間地域と巴川右岸地域とは地域間格差がみられる。今後さらに高齢化が予想されるため、地域住民は、医療体制や交通手段の充実、定住促進といった課題解決に取り組んでいる。

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

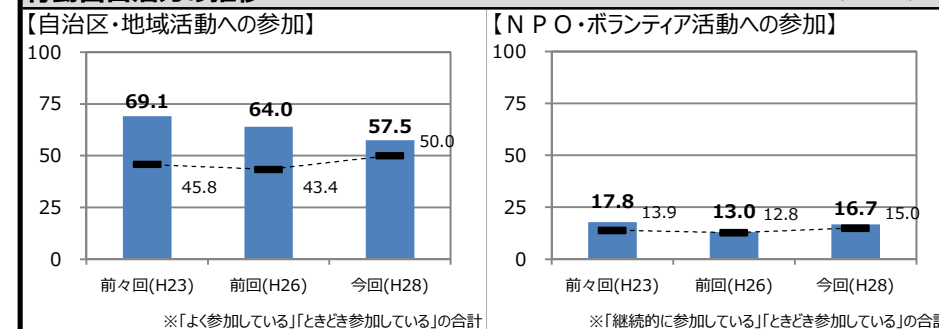
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動 1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動 1)】

「地域への誇りと愛着」が市平均と比べるとかなり高くなっており、この地域の特徴である歴史と自然が豊富であることが理由であると考えられる。また、ここ数年、参加率が下がっているものの「自治区・地域活動への参加」も市平均と比べ高く、そのことが「地域への誇りと愛着」の意識の高さにも繋がっている。「地域予算提案事業やわくわく事業の地域貢献度」も高く、これらの事業が地域において効果的に機能しているといえる。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	3 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体			
	スポーツ推進委員	5 名	ヘルスサポートリーダー	27 名	民生委員児童委員	17 名	お元気ですかボランティア	8 名			
	高齢者クラブ	6 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	71 団体	その他団体	団体			
活動例：【松平地区ヘルスサポートリーダー】 「ふれあい健康まつり」や「わくわくフェスタ」など地域の健康イベントで、平成30年度に松平支所に整備された「インボディ」を積極的に活用し、健康チェックなどを行っている。また、ラジオ体操の推進にも力をいれている。				福社				活動例：【松平ふれあい会食会「ゆかり」】 松平地域の女性を構成員として、平成15年度に設立された後、地域の高齢者とのふれあい会食会を開催するなど、地域住民との交流会を通して健康と食を考え、健康福祉向上の実践活動を行っている。			
コメント：ヘルスサポートリーダーの活動が盛んで、地域の健康づくり活動に大きく貢献している。				コメント：地域の行事等にも参画し、地域コミュニティの推進に成果を上げている。							

観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	31 団体	わくわく事業関連団体	1 団体			
	その他団体	1 団体	-	-	その他団体	団体	-	-			
	活動例：【松平郷ふるさとづくり委員会】 松平自治区民で構成された団体であり、松平郷内の施設管理や観光ガイドを通して、松平郷の素晴らしさを発信している。				伝統・文化				活動例：【松平わ太鼓】 週に2回練習を行い技量の向上に努めているほか、松平地域内外からの出演の依頼も多く、様々な舞台でパフォーマンスを披露し、活躍している。 【天下祭実行委員会】 毎年2月に「天下祭」を開催している。江戸時代に行われていた祭りを再現することにより、松平地域に伝わる歴史と伝統を継承している。		
コメント：郷土の歴史を学び、自分たちが学んだ成果を活かしてツアーガイドをするなど、観光に向けた活動を行っている団体もある。				コメント：和太鼓のほかには棒の手、手筒火花など伝統芸能が盛んに行われている。平成17年からは金魚火花も復活開催されている。							

環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体			
	その他団体	団体	-	-	自主防犯団体	28 団体	自主防災会	22 団体			
	活動例：【水士里の会】 H29年度からわくわく事業に応募し、桂野町地区内の里山づくりを行っている。 【松平地区区長会】 H30年度からわくわく事業に応募し、支障木の伐採による松平地区の景観整備に取り組んでいる。				安全・安心				消防団 105 名 その他団体 団体		
コメント：山林や里山の多い地域として景観の向上を図る取り組みが盛んである。				活動例：【松平コミュニティ防犯隊(T-マックス)】 平成22年に結成し、以来毎月2回メンバー全員で防犯パトロール活動を行っている。防犯劇の公演もっており、出演依頼も受けている。パトロール活動と平行して劇の練習も行っている。				コメント：平成27年より区長会が青色防犯パトロールを開始、T-マックスと共に30台の青パトで地区内のパトロールを行っている。			

子どもの健全育成	交流館自主グループ	2 団体	わくわく事業関連団体	5 団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体			
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	5 団体	その他団体	団体	-	-			
	その他団体	団体	-	-	自治振興				活動例：【松平わくわくフェスタ実行委員会】 地域住民の絆を深めるイベント「松平わくわくフェスタ」を年に1回開催している。楽器演奏、伝統芸能発表、バザーといった内容で平成17年より、地域力の向上を図るため開催されており、地域最大のイベントとして定着している。		
活動例：【つばさと根っこ会】 小規模特認校である滝脇小学校と連携して学習林の整備活動や、滝っ子まつりを開催して子どもの健全育成を目指している。 【お野人会】 様々な体験を通して地域の子どもたちに地元の素晴らしさを伝え、地域活性化及び定住の推進を目指している。				コメント：子育てサークルを始め、英語遊び、和太鼓や棒の手などの活動も活発に行われている。				コメント：住民全般的に地域づくりに関する関心が高く、活動が活発である。			

その他1	【 】				その他2	【 】			
	コメント：					コメント：			

【コメント（行動2）】
歴史ある地域であることから、交流館自主グループやわくわく事業団体の数を見ても伝統芸能を守り、後世に伝えていく団体が非常に多いことが特徴といえる。また、自然豊かな地域であることから、景観整備等を行うわくわく事業団体が多い。その他、全般的に見て、多くの分野にまんべんなく活動の輪が広がっていると見える。過疎化への課題意識も高まっており、定住施策につながる取り組みを行う団体も出てきている。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】										
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
①保健、医療、福祉の推進	1					2				
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	2	4	5	4	6	7	7	2	3	1
③安心・安全な地域づくり	2					1		2		
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	4	7	1	1	3	4	6	3	4	2
⑤子どもの健全育成	1	2	3	3	1	3	1	4	4	5
⑥地域の特性を生かした産業振興				1						
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業										
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業						1				
事業件数（件）	10	13	9	9	10	18	14	11	11	8
実績額（千円）	4,997	5,000	3,511	4,217	3,763	4,891	4,736	4,895	4,473	4,178

※H30は、平成30年7月31日現在

【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
病気を自ら予防し健康増進を図る事業	健康づくり	2,794	640	996	1,905	3,072	3,023	2,966	3,305	2,115	2,154
松平地域まちづくり構想策定事業	地域づくり計画	3,001									
通学路の安心安全の推進を図る事業	交通安全		6,950	2,278	1,479	1,487	1,677	1,753	1,049	972	
地域生活交通の充実を図る事業	公共交通		362	3,154	4,584	3,405					
河川・里山環境の維持・改善を図る事業	環境対策			2,256	1,285	964	131	534			
松平の地域資源を生かした魅力づくり事業	観光交流								4,715	3,005	4,791
持続可能な松平防災事業	防災対策									3,571	7,378
管理費										71	279
実績額（千円）				8,684	9,253	8,928	4,831	5,253	9,069	9,734	14,602

※H30は当初予算額

【コメント（行動3）】
わくわく事業については、過去10年の年間の平均を見ると交付団体11団体、交付額440万円余りと比較的高い数値となっており、住民の地域の課題解決や活性化に取組む姿勢が高いと感じられる。事業分類から見ると「伝統、文化、郷土芸能等」の分野が一番多く、松平地域が由緒ある地域であるというあらわれといえる。地域予算提案事業については、平成21年度に策定した「松平地域まちづくり構想」に掲げられた4つの目標、35の取組みに沿う形で事業実施をしている。

総評

住民の地域への誇りと愛着、地域活動への参加が高く、歴史や文化の保存、継承を行う活動も活発であり、この地域を愛する住民が多いと言える。一方で定住意識は市内28地区中27位と低く、その理由として公共交通が不便であるなどの世代も一番にあげているものの、地域バスの利用は減少している。
現在、下山地区テストコース開発に関連して地域内では県道等の整備が盛んに行われており、地域課題の上位にある生活道路・交通のスムーズ化については今後改善されると思われる。住環境は向上する一方で、交通量の増加に伴う防犯や交通安全対策に関する課題が顕著になる事が予想される。
また、山間地域を中心とした高齢化の加速による新たな移住手段の構築など、定住意識を高める取組みを実施するとともに人を増やすための方策を検討・実施していく必要がある。松平郷や滝沢谷といった自然豊かな観光資源の有効活用を進めていくことも考えなければならない。